

議会最終日に教育委員の人事案件が提出された。前任者に代わる新たな人選であった。議会は全会一致で案件に同意した。

**教育委員千葉勇氏から安部哲男氏に!**



安部哲男氏 (67歳)

田沢湖生保内字武蔵野105の737  
平成17年〜現在 仙北市教育相談員

**「農業委員」**

平成20年12月19日付けで任期満了となる仙北市農業委員の選任にあたり、議会推薦の依頼があった。議員から選出する委員と地域から推薦の委員を選んだ。

**議会選出は沢田信男議員**



沢田信男氏 (66歳)

仙北市角館町蘭田



藤川栄氏 (58歳)

仙北市田沢湖角館東前郷



佐々木英政氏 (54歳)

仙北市角館町下中川原



新山昌樹氏 (71歳)

**「地方自治功勞」**

仙北市西木町  
今後益々の活躍を祈る  
永年の功績が認められ、今年度の秋田県自治功勞者に仙北市から3氏が選ばれた。



門脇兵一元市議 (西木町)

議員歴32年



佐々木章副議長 (角館町)

議員歴27年



田口勝次議員 (角館町)

議員歴25年

## 会派紹介 政真会 (せいしんかい)

多くの課題に対し政策提案をし仙北市の発展と議会人としての責務を果たすべく行動と実行の会派であります。市民、行政、議会が共に結集しなければ仙北市の数多くの施策が発揮できません。常に一人、一人が真心での発信と行動を誓っております。メンバーの構成は、田沢湖地区1人、角館地区2人、西木地区1人の4人で構成されています。合併前から永年行

政経験の豊富な方々が集まっています。

主な活動は、毎月2回、議会前は必ず勉強会の開催をしており、又会派研修として昨年7月には山

## 市民の立場に立った政策集団

形県酒田市で豚の飼料として利用する「食糧自給率向上モデル・飼料用米プロジェクト」に取り組んでいる平田牧場を訪れました。消費者と共に平

田牧場が考えたのが水田転作としての飼料用米でありそれを豚に与えることによつて水田を守り、高品質で安全・安心な豚肉を生産している取組でした。又10月には、ニンニクの生産額で日本一を

策などありましたが今や作付面積179ヘクタールで生産額4億6千万の成果を上げております。両研修を通じて感じたことは、適地適産による自給率向上と行政、生産者団体、生産者が一体となった取り組みが重要なことと痛感してまいりました。今後は、会派の議論、研修にとどまらず、市民との意見交換を積極的に進めていきたい。

(代表 浦山敏雄)

## 編集後記

13号の原稿〆切日の1月8日、広報委員会開会前に丁委員から一言。

「議会広報の紙質が良くない。特に表紙写真などはまるで見栄えがしない。市の広報に比べても紙質が劣る。同じ程度のものを使えないか。」  
議会事務局職員。「1頁当たりの単価が違うのでこのような紙質になっている。」

「市広報と同程度の紙質を使用すると1頁単価がどれ位になるか。」

その後印刷会社の好意により上質な紙を使用出来ることになった。

